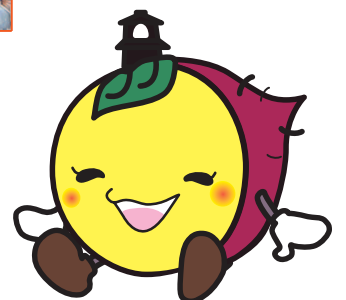


広報 川 越

No.1222

平成22年5月10日

(毎月10日・25日発行)



川越市マスコットキャラクター
「ときも」



伊佐沼庵(鴨田)

いただきます ～それぞれの食育～：2

市税等納期のメール配信サービス開始：6

5月30日はごみゼロ運動：7

ひまわり小江戸川越春まつり：10

●「社協だより」が折り込まれています。

*川越市ホームページ(<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>)でも、広報川越をご覧になれます。

いただきます それぞれの食育

「ただいま〜」。「おかえりなさい。ごはんですよ、早く手を洗ってうがいしてきなさい」。「は〜い」……。

このような会話を、毎日のようにしていた時代がありました。現在は、勤務時間の多様化や塾通いなど、家族一人ひとりの生活環境が変化。ファストフードやコンビニエンスストアが普及し、いつでも自分の食べたい時に、好きな食べ物だけ食べられるようになりました。便利さを手に入れた反面、家族で食事をする機会が減少しています。

食という字は、「人」を「良」くすると書きます。自分自身を、そして大切な「人」を「良」くする食について、もっと関心を持つ必要があるのでは……。身近で大切な食を見直してみませんか。

問い合わせ：健康づくり支援課健康づくり支

援担当 ☎ 2229-4121

農政課 ☎ 2224-5939

残さずに食べて欲しい

農業・戸田大輔さん(27歳・下松原)

主にホウレンソウを生産している戸田さん。そのこだわりは土作りから始まります。「竹を使っているんです」。粉末にした竹を一月間密閉。この粉末を土に混ぜると土が



ふかふかになり、根がしっかりと伸びるそうです。「植物は根がしっかりとしていないと元気になりません。元気な植物は病気にも強いですよ」。種にも妥協しません。「作りやすくたくさん収穫できる種より、自分がおいしいと思う種を選んでいきます」。手間がかかるため、畑を見に行かない日はないそうです。「うちのホウレンソウは収穫してから一週間は元気です。それだけ体力がありますから。でも、早く食べないと植物も体力を消耗して、うまみが減るんですよ」。植物の体力は、食べる人が感じるうまみということ? 「そうです。体力、つまり命をいただきます。私の仕事は植物の命を刈り取ることで、手抜きは出来ませんよ」。慣れた手つきでホウレンソウを収穫する戸田さん。最後に手を少し休ませてから「できるだけ残さずに食べて欲しいですね」。



生

伝えたい、おふくろの味

ふるさとの味伝承士・田中テル子さん(68歳・石田本郷)

ふるさとの味伝承士は、地元で取れた物を昔ながらの手法でおいしく料理するスペシャリストです。「昔は、収穫した小麦を粉にして、うどんを打つのも、取れたての野菜を料理するのも当たり前。今は便利になったけど、そういう余裕は無くなりましたね」。

食は本来、地域性や季節感を感じさせてくれるものです。かつては当たり前だった、旬の食材を使った季節感あふれる料理。現在では貴重なものになりました。「今は、おふくろの味でなく袋の味、つまり加工食品の味になってしまいました。おふくろの味を絶やさないために、地域の農産物をおいしく食べる方法を伝えていきたいです」。

「50年以上作り続けているからね。慣れた手つきで、うどんを打つ田中さん」

味



田中さんオススメ! 「ねぎめし」

とっても簡単!



用意する物(1人前)

- ネギ 1本
- 豚肉 30g
- ご飯 180g
- しょうゆ 大さじ1
- みりん 小さじ1
- 砂糖 少々

- ①ネギを斜めに薄く輪切りにする
- ②豚肉を細切りにする
- ③油を引いたフライパンでネギをいためる
- ④ネギが柔らかくなったら豚肉を加える
- ⑤しょうゆ・みりん・砂糖で味付けする
- ⑥煮汁が少なくなるまで煮詰める
- ⑦ご飯に混ぜて出来上がり



●料理のコツ

ネギの水分が出るので、ご飯は固めがいいですよ。

食は生活の原点 健康はその結果

菅野正司さん(67歳・かすみ野三丁目)
育子さん(68歳)



「男も料理を作るのが大切」と正司さん。「まずくても、うまくなるまでじっと待つのがコツ」と育子さん



「おぼん」にバランスよく並べられた料理。「外で食べるときは、好きなものを好きなように食べています」と正司さん。「次の食事でバランスをとってます」と育子さん



「きんぴらとひじきの煮物が主人の得意料理」と育子さん。「道具をそろえたら料理が楽しくなりました」と正司さん

現役時代は建築業をしていたという正司さん。仕事は忙しく、昼食が食べられないこともありました。夜は飲酒の機会が多く、外で飲むときは十分な食事をしないことが常でした。平成11年の退職後も毎日晩酌。しかも、だからだと食べながらだったため、いつも一時間ぐらいかかっていました。

「高血圧で倒れた兄がいたので、年々増える体重が心配でした」と育子さん。転機となったのは、同16年。育子さんが保健推進員になり、総合保健センターの健診や教室の情報を持ち帰るようになった

のがきっかけでした。

正司さんは、何度か健診や教室に通ううち、食事量の調節が必要と感じました。そこで考えたのは「おぼん」。「自分の食べた量が一目で分かるし、五皿ぐらい乗るので栄養バランスもいんです。何よりも片づけが楽なので気に入っています」。食べる量を調節しただけで、半年で五キロ減量に成功しました。「食は生活の原点。自分の健康という形で帰ってきます。これからは運動も始めるつもりです」。二人の笑顔は、さらに輝きを増していきそうです。

～ 総合保健センターの食育に関する教室 ～

下記の教室は、毎月25日発行の広報川越「保健・健康」でお知らせしています。

- 「からだうれしい食事教室」は、成人を対象に年間10回開催。高血圧に関係の深い塩分についての講義や、内臓脂肪を減らす食生活についての講義を行っています。自分自身の食生活を見直す機会として、参加してみたいはいかがですか？
- 「たのしい食育」は、1歳6か月から3歳11か月までの子と保護者を対象に、年間4回開催。地域活動栄養士 PFC の会が中心となって、子供の食事内容や量についての講義を行っています。弁当箱を使って、食事バランスを体験してみましよう。



今、なぜ食育なの？

食育とは、健全な食生活ができる、経験と知識を養うことです。言い換えれば、自分の食べる物に興味と関心を持つことです。

「食育は、子供の問題」「食べたいものを食べればいい」……。近年、生活環境の違いから、不規則な食生活や、家族がバラバラに食事を取る「孤食」も増えていきます。食は、生きる上での基本。食の問題は、全ての世代に関わる重要な問題です。

平成11年に市で実施した調査では、朝食を食べない小学生は1・0パーセント、中学生は4・1パーセントでした。ところが同18年では小

学生2・6パーセント、中学生5・9パーセントと、小学生は倍以上に増加しています。

市では、3月に「川越市食育推進計画」を策定。これは、食を通して市民の皆さんの心身の健康を増進し、食に関する感謝の気持ちや豊かな人間形成を育むことを目的としています。

川越は、農業・工業・商業のバランスがとれた産業構造で、地場産物を身近に求めることができます。この特徴を生かし、市では「食」を通じた家族や地域のつながりの再構築

をお手伝いしたい、と考えています。食は、体と心を満たすもの。自身のために、大切な人のために、毎日の食事と生活習慣を見直してみませんか。

食育を進める第一歩として、7月から始まる健康市民大学講座で、食育に関する講義を行います。今後の取り組みは、広報川越や市ホームページでお知らせします。

*同計画は、健康づくり支援課・保健所・保健医療推進課(本庁舎二階)・公民館・図書館・市ホームページで見ることができます。



食は、まちづくり人づくり

女子栄養大学
専任講師
西村早苗さん

最近問題になっている「孤食」は、なぜ生まれたのでしょうか？ それは3つの「ずれ」が原因だと思います。親が忙しいことによる時間のずれ、核家族化が進んだことによる空間のずれ、携帯やテレビを見ながら食事することによる意識のずれです。ところが、学生に理想の食事を聞くと、鍋物や大皿に盛られた食事など、みんなで食卓を囲んで食べる物ばかり。

できるだけ、みんなで食事をする機会を作ろうとしてください。そしてみんなで食事することを楽しんでください。食事は、空腹だけでなく気持ちも満たしてくれます。また、食事は、誰でもできる世代間交流です。地域の祭りなどに参加し、世代を越えて食事する機会を持つのもいいですね。

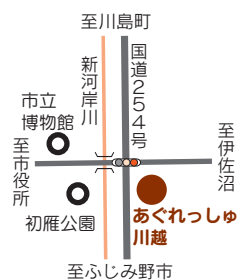


「あぐれっしゅ」は、アグリカルチャー(農業)・アグレッシブ(積極的)・フレッシュ(新鮮)の造語です。237人の農家が登録。市内全域から新鮮な野菜や米、花などが集まります

農産物直売所「あぐれっしゅ川越」オープン！

4月28日にオープンした「あぐれっしゅ川越」。地産地消を進めるだけでなく、新たな観光拠点としても注目されています。

営業時間…午前9時～午後5時
定休日…水曜日(祝日は営業)
駐車場…130台



通知書などを発送しました

名称	対象	発送日	問い合わせ
軽自動車税納税通知書兼領収証書	平成22年4月1日現在、原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車または二輪の小型自動車の所有者	5月10日	Tel 224-5637 市民税課税制担当
固定資産税・都市計画税納税通知書	固定資産(土地・家屋・償却資産)の所有者	5月10日	Tel 224-5642 資産税課管理担当

名称	納期限	問い合わせ
軽自動車税	5月31日	Tel 224-5686 収税課収税管理担当
固定資産税・都市計画税(第一期)	5月31日	Tel 224-5686 収税課収税管理担当

市税などの納期のお知らせ

付加年金で年金を増やせます

市民課国民年金担当
☎224-5764

付加年金保険料は、国民年金第一号被保険者を対象にした国民年金制度独自の上乗せの年金です。

定額の国民年金保険料に加算して付加年金保険料を納めると、老齢基礎年金に付加年金が加算されます。

対象：第一号被保険者(農業・自営業・学生などで、65歳までの任意加入被保険者を含む)

*保険料の納付を免除されている方や国民年金基金に加入している方は、納付できません。

付加年金保険料(月額)：四百円

支給される付加年金額(年額)：

二百円×付加年金保険料を納付した月数

納付開始：申し込み月から納付(さ

かのぼつての納付はできません)

申し込み：年金手帳・印鑑を持参し、

市民課(本庁舎一階)・出張所・連絡所

障害者の軽自動車税を減免

市民税課税制担当
☎224-5637

身体障害者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持つ方のうち、一定の要件に該当する場合は軽自動車税が減免になります(要申請)。また、これらの手帳

を持つ方と生計を同一にする方が、所有する車を手帳を持つ方のために運転する場合も減免の対象です。

昨年引き続き減免の申請をする

方は、郵送での申請が可能です。

申請

5月24日(月)までに市民税課(本庁舎二階)。

必要書類

●平成22年度軽自動車税納税通知書

●運転免許証

●各手帳

●各手帳を持つ方のみで構成される

世帯の方が所有する車を、常時介

護する方が運転する場合は「常時

介護証明書」

市税等納期限のメール配信サービス開始

収税課収税管理担当 ☎224-5686

「市税等納期限お知らせ」のメール配信サービスを開始しました。納期限の約1週間前にメールが届きますので、市税などの納め忘れや口座振替の残高チェックなどに便利です。

登録は、下記のアドレスまたは右のQRコードから申し込むことができます。

<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/cgi-bin/m1hi/index.pl>

*登録料および情報提供料は無料ですが、インターネット接続やメールの受信などにかかる費用は利用者の負担となります。



ここを携帯で
写してみてください!



定期健康診断受診料補助

緊急地域経済対策室
☎224・6191

従業員の定期健康診断を実施している事業主に、受診料の一部を補助します。定期健康診断は、労働安全衛生規則に定められ、すべての事業主に実施が義務付けられています。対象：次の要件を満たす事業主①市内の事業所で常時雇用従業員が

三十人以下②今後も継続的に定期健康診断を実施する③納期到来の市税を完納している

補助額：従業員一人当たり受診料の50パーセント(限度額三千円)
*補助金は、年一回、通算三回まで受けられます。

懇話会委員を公募

学校管理課 ☎224・5139
市立川越高校の将来構想について

検討する「第二次川越市立川越高等学校将来構想懇話会」を設置します。市民の皆さんの意見を反映するため、同懇話会委員を公募します。

応募資格：次の要件を満たす方①市内在住の30歳以上で、教育に関心がある②平日昼間に開催される五回程度の会議に出席可能③市のほかの付属機関の委員でない
定員：二人

応募方法：応募用紙に必要事項を明記し、「市立川越高等学校に関する私の意見」の小論文(任意の形式で八百字程度)を添えて5月31日(月)(必着)までに〒350・8601川越市役所学校管理課

*応募用紙は学校管理課(東庁舎一階)で配布しています。市ホームページからもダウンロードできます。

固定資産税を減免します

資産税課管理担当
☎224・5642

火災などで損害を受けた家屋の固定資産税・都市計画税のうち、納期限が到来していない分について、減免される場合があります。消防局予防課が発行する「り災証明書」を持ち、資産税課(本庁舎二階)にご相談ください。

5月30日(日)はごみゼロ運動

資源循環推進課 ☎239-6267

ごみゼロ運動は、道路や公園などの公共の場に散乱しているごみや空き缶を拾い、清潔な環境を保ち、美しいまちづくりをするための運動です。

ごみゼロ運動は、家庭のごみや粗大ごみを回収する日ではありません。当日は収集車両が作業を行いますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

環境美化活動への支援

ごみゼロ運動の日以外に地域の清掃活動を行う団体に、ごみ袋の支給やごみ挟み・啓発用ベスト・リヤカーを貸し出しています。

県(川越県土整備事務所 ☎243-2020)では、道路の清掃活動を支援する「彩の国ロードサポート」、河川の清掃活動を支援する「水辺の里親制度」があります。



~ひとくち情報~ ミニ・インフォメーション ~ひとくち情報~

- 「子ども手当」の申請はお早めに 子育て支援課 ☎224-5821
同手当の最初の支払いが6月15日です。6月に支給を受けるためには、5月31日(月)までに申請してください。また、平成22年4月分からの受給には、9月30日(木)までの申請が必要です。
- 川越市総合計画審議会を開催 政策企画課 ☎224-5503
5月24日(月)、午後2時～。7AB会議室(本庁舎7階)。傍聴は先着10人。当日直接会場。
- 本人通知制度開始 市民課戸籍担当 ☎224-5747
6月1日から、個人の権利侵害を防止するため、住民票の写しや戸籍謄本などを第三者に交付したとき、事前登録をした方に交付したことを通知する「本人通知制度」を始めます。
- ジュニアボランティア募集 博物館 ☎222-5399 ☎222-5396
「土曜子ども体験」の手伝い。対象は、市内在住の小学5年生～高校生で、5月30日(日)、午前10時から同館で行う説明会に保護者同伴で参加できる方。申し込みは、5月25日(火)までに電話またはファクスで同館。

市では、川越みんなの健康プランに基づいて、「たばこの害を知り、煙のない地域を目指します」と目標を掲げ、市民の健康づくりに取り組んでいます。

平成21年に行ったアンケート調査によると、市内男性の3人に1人、女性の10人に1人が喫煙しているという結果でした。右のグラフを見ると、男女共30歳代の喫煙者が多く、男性は年代が上がるにつれ、禁煙する人が増える傾向にあります。

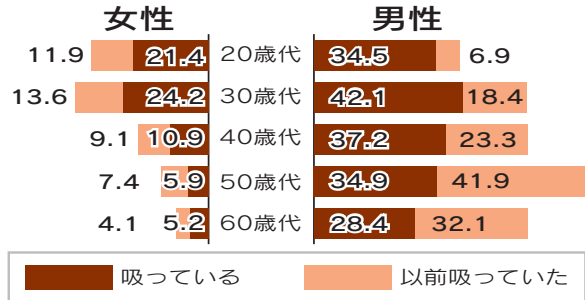
禁煙をすると、体が修復を始めます。最後の喫煙から20分以内に、血圧は最後の喫煙前に近いレベルに、手足の温度は正常に戻ります。24時間後には心臓発作の確率が減少し、さらに1年後、心臓疾患のリスクが喫煙者の半分になります。

喫煙中の人と一緒にいると、周りの人はたばこの先から立ち上がる副流煙を吸うことになります。副

流煙には、喫煙者が吸う主流煙より2~4倍の有害物質が含まれています。20歳~40歳代は、出産や育児をする方が多い年代。自分や大切な人の健康のためにも、禁煙を心がけたいものです。

禁煙治療には、保険が適用されます。一度禁煙外来へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

市内のたばこを吸う人の割合 (%)



- 事例**
- トイレの水が止まらないので、電話帳で調べた水道業者に修理してもらった。五万円を請求され、仕方なく支払ったが、高すぎるのではないか。
- 水漏れやトイレの詰まりなどの故障は、突然起こるものです。すぐ修理する必要があるため、数社の見積もりを比較検討することが難しく、結果的に思ったより高額になることがあります。
- 消費者へのアドバイス**
- ① 日ごろから水道の元栓やトイレ・台所・風呂の止水栓の位置と締め方を確認しておきましょう。
 - ② トイレの水が止まらないので、電話帳で調べた水道業者に修理してもらった。五万円を請求され、仕方なく支払ったが、高すぎるのではないか。
 - ③ 「見ないと分からない」と言われたら、来るだけでお金が必要か聞きましょう。
 - ④ 実際に来たら、作業前に見積もりしてもらい内容を確認しましょう。
 - ⑤ 緊急の際には、必要最小限の応急処置だけとし、依頼以外のことを勧められたときは慎重に判断しましょう。
 - ⑥ いざという時のために、信頼できる業者を探しておきましょう。
 - ⑦ トラブルが起きてしまった場合は、生活情報センターへ相談してください。

消費生活の豆知識

その2 「水漏れ・トイレの詰まり」で修理が必要

生活情報センター ☎226-7066 (相談専用 ☎226-7476)


川越再発見

今回出かけたのは
「南大塚駅」

まちの魅力や小さな発見を紹介するコーナー。今年度は、駅周辺の散歩道がテーマ。北口から、駅前広場に沿って新狭山方向へ歩くと、線路沿いに「0」と書かれた白い杭を見つけました。これは、鉄道の起点を示す標識。休止中の西武安比奈線は、ここから始まります。駅前に戻り、東に進むと「つばさ」で「すずもとスパー」のモデルになった店の前を通ります。その先を曲がると、路上に不思議な線路を発見。それは、前後が途切れ、使われていないようです。よく見ると、少し先で続きます。

寺と菅原神社があります。線路は、さらに、入間川の河川敷まで続きます。

で、再び線路は続きます。線路に沿って道を行くと、国道16号と交差。ほど近い場所には、毎年、成人式の前日に餅つき踊りが披露される、西福寺と菅原神社があります。



このシリーズは、自立生活問題研究所所長・谷口明広たぐくあきひろさんを招いて行った、人権問題講演会の要旨を人権推進課でまとめたものです。

障害のある方でも、ひとり暮らしをしたらそれで終わりなのかと言うと、決してそうではありません。もっと幸せな生活があると思います。

「谷口先生は、結婚して、子供が二人いる。大学の先生で収入が安定していて、社会的地位も、名誉もある。先生はもう何も要りませんよね」と私に言う方がいらつしゃいます。

腹が立つんですね。

私が「全然満足していませんよ。私にそんなに終わりのように言わないでください。私は、これからまだ目指すものがあります」と言うともっと聞いてくるんですよ。「谷口先生は、これから何を求めているらっしゃるんですか」としつこく聞かれるから、腹が立つんで「世界征服で

す」と答えます。

障害のある方は、大きな夢を持つてはならないとみんな思っているかもしれない。あなたの夢は何ですか。ディズニールランドに行くことですか。今でも連れて行きますよ。そんな小さな夢だけではダメです。周りの人は、障害のある方が、大きな夢を語れるような地域をつくっていた

だいたいと思っています。

私は、地域の力がものすごく大きいと思っています。この川越市に私を呼んでいただきました。皆さんのまちをまず、ノーマライゼーションのまちにしていたたく、福祉が充実したまち、福祉だけでなく、いろいろなものが充実したまちにしたい。今度ここに来たときに、私はここに住みたいな、ここに住所を移そうかなと思うようなまちにしたいだければ幸せです。(終わり)

品格あるまちを目指して

市長からの手紙



変えます。ここを！ ②「タイムレコーダー」

今年度中に、本庁舎、東庁舎などに、ICカード方式のタイムレコーダーを導入します。これは、時間管理を客観化し、規律の徹底と事務の効率化による残業の縮減を図るのがねらいです。そして順次、出張所などにも導入するというのが、現時点での考えです。

市役所では、これまで出勤簿に押印する方法で、職員の出退勤を管理してきました。しかし、この方法だと、上司が休んだり、先に帰宅したりすると、職員の出退勤を確認することが出来ません。そのため、どうしても時間管理が徹底しないきらいがあります。県内他市はどうしているのか、人口10万人以上の19市を調べました。タイムカードを設置しているのは戸田市のみで、タイムカードより進んだシステムまたはカード方式で管理しているところが越谷市、上尾市、狭山市、ふじみ野市の4市、それ以外は出勤簿などで管理をしています。中核市をみると、41市中、タイムカードによる管理は船橋市のみで、システムで管理しているところが21市、出勤簿などが19市という状況です(平成21年8月現在)。

本当は、時間管理だけではなく、個人ごとあるいは市役所全体での時間外勤務手当(残業手当)も直ちに計算してくれるようなコンピュータ管理システムの方が良いのです。しかし、そうした完全システムは、少なく見積もっても数億円かかります。そこで、完全システム化は庁舎建設の検討と連動させることにし、約1,000万円のできるタイムレコーダーを採用することにしました。これにより、事務量の増加や仕事の多様化に対応できるよう、事務の効率化を進め、職員の増員や残業をなるべく抑制していきたいと考えています。残業時間の増加は、職員の健康管理や財政面で好ましくありません。市職員の残業手当は、これまで年間総額で7億円から8億円かかっており、財政の厳しい状況から、残業時間の縮減を目指した取り組みを、昨年の夏以来展開中です。引き続き事務の改善などを行うに当たり、タイムレコーダーの導入は、効率的な行政運営にも役立つと期待しています。

川越市長 川合善明



技が決まると大きな拍手がわきます



ひま
ちと
山江川越春まつり



新河岸川の護岸整備が進み、いよいよ船出しの準備が進んでいる。

3月27日から始まった、今年の「山江川越春まつり」。



オープニングイベントでテープカット

「新河岸川の舟遊」桜も笑顔も満開



「石田の春まつり」ササラッコ



勇ましい和太鼓の演舞
(城西大付属川越高校)



息の合ったマーチングバンド(星野高校)

市内でもおなじみの「火縄銃」を再現。



火縄銃から一斉に放たれる白煙とごう音



着物姿コンテスト・グランプリ受賞者を
乗せて、いざ一番街へ

アスレチックがリニューアル



伊佐沼公園冒険の森にある、9種類のアスレチックがリニューアルしました。春の陽気に誘われてか週末は家族連れで大人気。木製遊具が連続的に配置され、子供たちの冒険心が高まります。「綱にぶら下がったり、木をよじ登ったり、とても楽しいです」と鈴木杏奈さん(11歳・砂)。

新1年生が交通安全の誓い



4月6日、春の全国交通安全運動出発式が西武本川越駅前広場で行われました。新1年生を代表して1日警察官に任命されたのは、名細小学校の若杉悠汰くん、上戸小学校の白石清美さん。2人は、「交通ルールを守り、元気に学校に行きます」と元気いっぱいに誓いの言葉を述べました。

ひま
ちと

ふ
おと
こ
こ
の
こ
え

ひま
ちと



「ときも」デビュー

時の鐘とサツマイモから生まれた川越市マスコットキャラクター「ときも」。体は「紅赤」という品種と同じ紅赤色。まあい顔は、ほくほくの焼き芋を思わせる、明るく健康的な黄色です。頭の上の黒い帽子のようなものは「時の鐘」の分身です。

誕生日は、10月13日(さつまいもの日)。性別は、不明。特技は、イモ判で自分の姿をスタンプすること。持ち前の愛らしさで、芋づる式に友達を増やしていくこと。

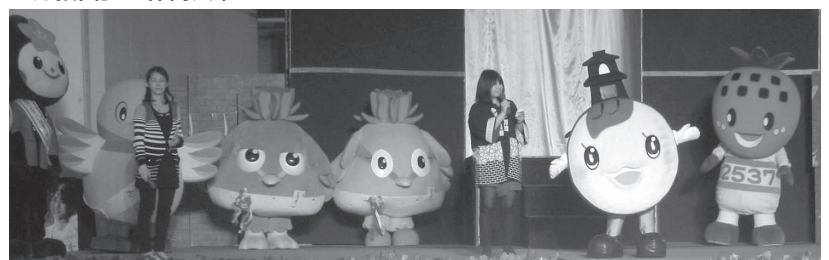
「今後行われる市の催しで、姿を見かけたら声をかけてね」と、ときも。



3月27日、「小江戸川越春まつり」のオープニングでデビュー

大勢の子供たちから握手を求められる

3月28日、埼玉県の魅力をPRする「ゆる玉応援団」に仲間入り



川越と火縄銃

火縄銃は黒色火薬を使用した、先込め式の古式銃砲です。点火装置に火縄を使うことから、この名がつけました。日本には天文十二年(一五四三)、種子島に漂着したポルトガル船によって伝来しました。当時、合戦で使われていた弓の有効射程は約八十メートル。これに対して火縄銃は、百五十〜二百メートル。遠くから敵を倒すことができる「新兵器」火縄銃は、瞬く間に戦国大名の間に広まりました。

天文六年(一五三七)以降、川越城を領有した後北条氏も、火縄銃を取り入れた戦国大名のひとりです。後北条氏は相州小田原を本拠とし、鉄砲衆と呼ばれる直属の鉄砲隊を、攻略した各地の城に派遣しました。市内でも、市役所周辺を中心とした川越城や後北条氏の重臣・大道寺政繁の陣所(上戸小学校辺り)にも鉄砲衆を駐留させ、



上杉氏と激しい攻防を繰り広げていたかもしれません。

河越館跡史跡公

園では、5月29日(土)に火縄銃の演武を行います。重厚な火縄銃の響きを体感してみませんか。

川越の畜産

100戸を超えていた畜産農家も、今では宅地化の進行や輸入の影響で、16戸まで減少。谷中には、「小江戸黒豚」を出荷する農場があります。市内にも養豚農家があることを知ってもらいたいという願いから、自家製のハム、ソーセージ販売を行っ



農政課 224-5939

たり、バーベキューができるように工夫したりしています。肉の旨みを引き出すため、サツマイモを配合した飼料で大切に育てられた黒豚の肉は、甘みがあると好評です。

風が吹き抜け、陽光さす施設で鶏を飼育している中老袋の養鶏場。自然な飼育にこだわった鶏の卵は、季節によって味が違うとか。養鶏場などで販売されている卵は、本来卵が持っている抵抗力を生かすため、あえて洗っていません。生卵の良さが味わえる卵かけご飯は、イベント時などに大人気です。

私たちの生活にとって、肉・卵・牛乳は大切な食材です。少ないながらも、養豚、養鶏農家や、酪農、肉牛の農家が、畜産の普及のために、工夫を凝らして頑張っています。



休 みの日、部屋を掃除すると、いらなくなった紙が出てきました。メモや説明書、ほかにもいろいろ。

古紙は再利用できる資源です。段ボールや紙箱などは、九割以上が古紙の再利用とか。それに比べ、新聞・印刷用紙などの「紙」は、リサイクルに適した古紙を選ぶ必要があるため、古紙利用率は、まだ低いそうです。

下の「リサイクル適正①」の表示は、印刷物をまるごと「紙」にリサイクルできる証しです。

古紙の活用は、ごみの減量だけではなく森林資源・地球環境の保全につながります。まずは、部屋から出た古紙を資源回収に出す準備から……。

小江戸川越観光 キャッチフレーズ

時

薫るまち

川越